

長野県史 通史編

第四卷
近世一

目次

口 絵

緒 言

例 言

第一章 豊臣政権と信濃……………一

第一節 領主の交代……………二

一 豊臣大名の入封……………二

秀吉の北条討伐令と真田氏 信濃諸領主の小田原参陣 家康配下領主の関東移封

兵農分離 豊臣大名の入封 軍役と朝鮮出兵

二 上杉景勝の移封……………一六

上杉景勝の移封と兵農分離 関・田丸の入封

第二節 秀吉の直轄地と太閤検地……………二四

一 蔵入地と金山の支配……………	二四
木曾山の直轄 秀吉の草津入湯計画 信濃金山の支配 北信の蔵入地	
二 太閤検地と村高……………	三四
太閤検地以前の検地 諏訪郡日根野検地 伊那郡総検地 北信の太閤検地	
貫高と石直し	
第三節 肝煎と小百姓……………	五四
一 村の構成……………	五四
肝煎支配と小百姓 御館と被官 「かわた」の集住	
二 年貢と課役……………	六三
年貢と夫役 逃散と軍役	
第二章 江戸幕府の信濃支配……………	六九
第一節 徳川政権の成立と信濃……………	七〇
一 関が原の戦いと信濃……………	七〇
森忠政の北信入封 会津征討と東西開戦 上田城攻防と関が原戦	
二 家康の覇権と信濃……………	七六
真田氏の処遇 信濃大名の安堵と帰封	

第二節 幕府領と藩領の形成…………… 八二

一 大久保長安と信濃…………… 八二

代官頭大久保長安 東西決戦と長安 長安と信濃国

二 徳川一門領と幕府領…………… 九〇

木曾・伊那の幕府領 松平忠輝領と大久保長安 大坂の陣と信濃 元和偃武

東信の徳川忠長領と幕府領 甲府・館林徳川領 城詰米制の成立

三 大名の移動…………… 一〇〇

領主の移動と信濃国 高遠藩 飯田藩と伊那の旗本領 須坂・飯山藩と北信諸領

松代藩 上田・小諸藩と東信諸領 高島藩と分知旗本 松本藩と分知旗本

四 寺社領のなりたち…………… 一三三

豊臣大名と寺社領 受永状 善光寺領・戸隠山神領の成立 朱印寺社領の成立と諏訪上下社領

第三節 木曾山と伊那山…………… 一四二

一 木曾山の支配と役木・用材…………… 一四二

大久保長安と木曾代官山村氏 尾張領木曾と山村氏 役木と本役人制

採取林業の展開 寛文の林政改革

二 伊那山の幕府支配と採材…………… 一六二

千村預り所の成立 年貢樽木 御用樽木 樽木の間知と川狩り

御救い木・運上木・満島番所

第四節 城下町の建設と検地……………一七

一 築城と城下町の建設……………一七

松本城の築城と城下町 松本城天守 高島・高遠・飯田城と城下町

小諸築城と佐久郡逃散 上田・松代城と城下町の建設 飯山城・長沼城と須坂

二 初期検地と村……………一五

北信の森検地 農村のたてなおしと還住策 各地の初期検地

初期検地の村落構成

第五節 中山道と諸往還の成立……………二五

一 中山道の成立……………二五

武田氏の滅亡と道支配 中山道と幕府 中山道の宿場 伝馬役の人馬

松並木と一里塚 関所と番所

二 諸往還の成立……………三三

甲州街道と佐久甲州道 北国街道と大笹街道 北国西往還の成立

伊那街道と南塩 千国道と北塩

第三章 藩政と農民……………二四

第一節 藩体制の形成……………二五

一	藩機構の成立……………	二五〇
	松代・松本藩の藩政機構	
	高島藩の藩政機構	
	旗本領の支配機構と家臣団	
	領域経済と口留番所	
二	家臣団と知行制……………	二五九
	上田藩の家臣団と知行制	
	松代藩の家臣団	
	松代藩の地方知行	
	高島藩の家臣団	
	高島藩の知行制	
	諸藩の家臣団と知行制	
第二節	土地と農民……………	二七七
一	検地と百姓役……………	二七七
	松本藩の慶安検地と屋丁役	
	飯山藩の慶安・寛文検地と家並百姓	
	松代藩の寛文指出検地と頭判百姓	
	上田藩の貫ならし	
	南信諸領の検地と本役・半役	
	幕府領の寛文・延宝検地と小百姓自立	
二	所持地の移動とその規制……………	二九四
	永代売りから質地へ	
	分地制限令と裏判証文制	
	家中名請	
第三節	年貢と農民……………	三〇五
一	幕府領の石代納……………	三〇五
	北信の初期石代納	
	寛永飢饉と年貢	
	佐久の石代納	
	伊那の榑木成村	
	三分の一・三分の二金納制	
二	諸藩の年貢と農民……………	三三九

二斗八騒動 加助騒動 南信の定物成年貢 諸藩の貢租形態
年貢と百姓階層 役儀の改廃

第四節 新田開発と用水・林野……………三四三

一 用水と新田の開発……………三四三

佐久の四新田 安曇平の堰開削と新田 諏訪山浦の新田開発
新田開発における領主と農民

二 林野の支配……………三六三

御林の囲いこみと用水山 巢鷹山 御林入会と山年貢 林野の支配

第五節 寺と旦家……………三七六

一 幕藩領主の宗教統制……………三七六

キリシタン禁止と宗教統制 寺社統制と本末制度 宗門改めと寺請制度
宗門改め帳 寺院本末制の浸透

二 旦家制と村落社会……………三九三

信濃の転びキリシタン 寺請制と旦家 近世仏教と庶民

第四章 町人町と百姓の村……………四〇三

第一節 城下町町人と経済……………四〇四

一 町人町の形成……………	四〇四
飯田町人町 松本町人町 上田町人町 松代町人町	
二 城下町の町政と身分……………	四一五
城下町の町政 町人身分の構成	
三 城下町町人と領域経済……………	四二二
飯田町町人の経済活動 飯田町の町内抗争	
第二節 善光寺町と宿場町・在郷町……………	四二六
一 善光寺町……………	四二六
善光寺町の成立 善光寺町の構成 中世的寺役人の失脚と統治の近世化	
善光寺町と善光寺平の流通	
二 宿場町と在郷町……………	四二七
中山道宿場町の経済活動 諸往還の宿場町 在郷市場町の変化	
第三節 近世村落の形成……………	四四五
一 村と村役人の変化……………	四四五
肝煎から名主・庄屋へ 村方三役の成立へ 自立小百姓の増加 村方騒動	
二 本百姓と非本百姓……………	四五九
本百姓身分と家格 抱と抱ぬけ 被官と被官ぬけ 前期村落の景観	

三	村の内部構成……………	四一
---	-------------	----

五人組 同族団

第四節	身分差別の形成……………	四七
-----	--------------	----

一	士農工商……………	四七
---	-----------	----

信濃の士農工商 武士の身分 農工商の身分

二	「かわた」から「えた」へ……………	四八
---	-------------------	----

「かわた」身分の成立 「かわた」から「えた」へ 「えた」の職務と生活 非人身分

三	非農業民と差別……………	四九
---	--------------	----

宗教・芸能にかかわる人々 漂泊者の定住策 雑芸能者などの差別

第五節	村民と林野・用水……………	五八
-----	---------------	----

一	林野入会の成立……………	五八
---	--------------	----

初期林野の所持と利用 村々入会の成立 入会争論の激化と裁許 入会林野の利用

二	用水慣行の形成……………	五三
---	--------------	----

溜池の水利権と維持・管理 河川灌漑地域と水利権 村内の用水配分と農民階層
用水施設の諸形態 用水施設の維持・管理

第六節	農林生産と輸送……………	五四
-----	--------------	----

一	農業と林産……………	五四
---	------------	----

稲作の実態	畑作の実態	焼畑の推移	山かせぎと川かせぎ	五二
二 農間かせぎと交通運輸

農林加工業の展開	中馬と峠道の開発
----------	----------	-------	-------	-------	-------

第五章 上方文化の流入	五三
-------------	-------	-------	-------	-------	----

第一節 上方文化と信濃	五四
-------------	-------	-------	-------	-------	----

一 上方文化の流入	五四
-----------	-------	-------	-------	-------	----

都風の大名	大名のみやび	城下町と上方風支配	神仏を通じて
西からの物と技術	新しい需要から

二 学芸の興隆	五六
---------	-------	-------	-------	-------	----

武芸の教養化	詩歌連俳	茶の湯とその世界	さまざまな芸能	権力と医療
--------	------	----------	---------	-------	-------

第二節 諸階層の信仰	六〇〇
------------	-------	-------	-------	-------	-----

一 寺社の造立	六〇〇
---------	-------	-------	-------	-------	-----

寺社の復興	領主の寺	村の寺・庵と氏神	名僧の事績	寺社などの建築と彫刻
-------	------	----------	-------	------------	-------

二 修験道の展開	六〇二
----------	-------	-------	-------	-------	-----

修験道の組織化	修験と吉田神道	修験の御師化
---------	---------	--------	-------	-------	-------

第三節 文書の普及と庶民生活	六三
----------------	-------	-------	-------	-------	----

一 文書の普及…………… 六三

文書量の増加 文書による支配 文書による権利保証 文字習得と権利の主張

文書様式の統一化 百姓の印

二 庶民の生活文化…………… 六五

家族と親族 家 食物と嗜好品 木綿世の風俗

付録 徳川將軍系図

信濃関係大名系図

所領変遷図

所領分布図

度量衡・通貨表

あとがき

執筆者名簿

近世担当編纂委員名簿

長野県史編纂関係者名簿

口絵解説

写真・図・表目次